

北陸地方のキリスト教保育史 —JKU 年報から(2)—

児 玉 衣 子

Kindergarten Union of Japan (通称 JKU) は、欧米の宣教団体から派遣されて日本に幼児教育を開始した婦人宣教師および婦人教師によって1906年に設立され、わが国の国情の影響を受けて1940年に閉じられた団体である。幼児教育・保育を未だ知らなかった日本の各地にそれを根づかせていった。JKU は毎夏、軽井沢に集って報告・研修会を行い、その結果は1907年から毎年、年報として報告され、今日、貴重な記録となっている。

そこで、本学紀要第34号(2002)から、この JKU 年報の北陸三県(富山県、石川県、福井県)に関する記述を訳出し始めた。本学紀要34号では、JKU 年報第1号—第5号(1907-1911)を訳出した。

今回は、同年報6号から8号までに掲載された3県関係園の報告を訳出する。目的は前回と同じく、本邦のキリスト教保育の貴重な歴史を伝えるにもかかわらず、特に北陸地方においてこれまでほとんど知られることのない同年報に光をあてること、そして、その中に記されている北陸地方のキリスト教保育の開始時の状況を知ることにある。当時の当地方という風土や時代状況の制約の中で、宣教の最先端にする使命のためとはいえ、外国人女性によって新しい幼児教育なるものが開始されたとき、どのようなことが大切に考えられ、その地域の家庭との間にどのような歩み寄りがあったキリスト教保育は根づいていったのか、そのことを探るひとつの貴重な資料として、本年報を引き続き訳出する。

なお、写真について、前回の第1号から第5号までの写真を紀要34号に掲載しなかった。そこで、今回、取り纏めて入れることにした。写真が入るのは、本文の記事と同様、第2号からである。

第2号(1908、明治41年)20頁と
21頁の間。金沢、英和幼稚園。



EIWA YOCHIEN, KANAZAWA, KAGA.

児 玉 衣 子

第3号(1909、明治42年) 12頁と13頁との間。 金沢、英和幼稚園。



EIWA KINDERGARTEN, KANAZAWA.

第4号(1910、明治43年) 54頁。
福井、栄冠幼稚園

動静の記述者は Miss MAY H.
HENNIGAR なので、写真の白人
女性も同人と思われる。



Eikwan Kindergarten Group.

第5号(1911、明治44年) 22頁。
富山幼稚園、ミス アームスト
ロング



TOYAMA KINDERGARTEN, MISS ARMSTRONG.

第5号(1911、明治44年) 24頁。

金沢、英和幼稚園における
遊戯。ミス ジョンストン



EIWA KINDERGARTEN AT PLAY, KANAZAWA, MISS JOHNSTONE.

第6号(1912、明治45および大正元年)

36頁。AMERICAN CHURCH MISSION (派遣教派)

Futaba Yochien, Kanazawa, Kaga. (現双葉保育園, 香林坊、金沢市)

5月19日朝、金沢、双葉幼稚園は誕生をみた。それ以前、主任保母と私とは、幼稚園開園を近所の家々に伝えてまわるのに忙しかった。これは、想像されるように、全く喜びにあふれた期間とはいえなかった。というのは、家によっては私たちを迎えるやり方は喜ばしいものからはほど遠かったからである。それでも、そのやり方が最も手早く一般の注意をひくやり方に思えた。また、大抵のところでは私たちは礼儀正しく、時には親切に迎えられた。ある老婦人は、私たちが玄関で「ゴメンクダサリマセ」と挨拶して待っていると出てきて、「この通りを上がっていくと、ちょうど角の辺りにたくさんの軍人家庭があります。あの人たちは、幼稚園のことを聞くとよろこぶと思います」と、言ってくれたりした。

開園前夜、保母が私のところへ来て言った。「先生、私が聞いたことをどう思われますか？ 私たちの借りた家(園舎)には幽霊が出るそうなんです！ 願書は数通きているだけです。もし親御さんがこんなことを聞いたら、子どもを行かせようと思うのでしょうか？」。私は彼女の不安をなだめた。しかし、内心、全く自信はなかった。というのは米国西海岸でも迷信は盛んだからだ。

しかしながら、私たちの不安は、翌朝、開園のはるか前に完全に吹き飛んだ。子どもたちは正装してやって来て、大変驚いたことに、開園には15名の幼児が出席した。翌日には22名出席。準備は25名分しかしていなかったの、私は心配になり始め、床に座ってもらおうかとも思い始めた。そんなふうに悩みながら、私はプレスビテリアン(長老教会)の友人に、彼女が貸すことのできる古い椅子やテーブルがないかどうか、急いでメモを走らせた。心配しながら返事をまっていたところ、

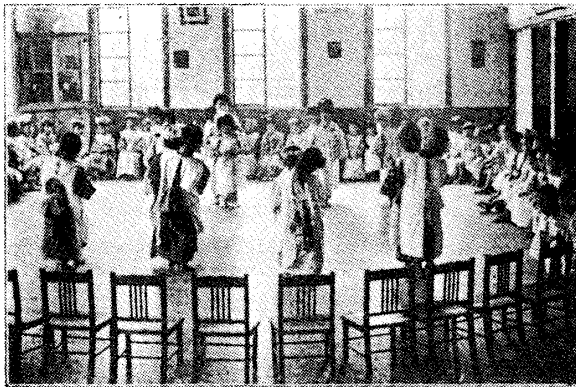
児 玉 衣 子

大変うれしいことに、彼女は、私の妖精の代母様になってあげられると返事をくれた。つまり、彼女たちがこれから先に開園を望んでいる幼稚園のための道具類が、将来の開園までの間だけだけでも、私たちの幼稚園に到着したのだった。

長い話をかいつまんで言うと、私たちは開園から5日目の終りには定員の35名以上の子どもたちを受け入れていた。そのため、県庁に、定員を40名に増員する許可を求めなければならなかった。1週間もたたないうちに幼稚園はぎりぎり限界いっぱいになり、現在では、入園待ちのリストの人数がぐんぐん増えている。一連の病気のおかげで、私たちは、ごく少数の親を除いて多くの親と知り合うことができた。この少数の親たちも秋の母の会を楽しみにしている。私たちは、福音的活動のために他にも良い機会のあることを望み、祈っている。

Helen Louise Tetlow (ヘレン L. テトロウ)

65頁には、以下の Toyama Kindergarten の写真2葉が掲載されている。



Toyama Kindergarten.



Toyama Kindergarten.

69頁。AMERICAN PRESBYTERIAN (派遣教派)

Eiwa Kindergarten (ここでは幼稚園名は Eiwa. ただし、巻末の幼稚園リストには幼稚園名が北陸女学校と記載されている)

幼稚園は、今年、とてもよい年だった。3月に29名の園児が卒園した。今年度には93名が在籍している。この人数は今までで最多であり、しかも、これまで以上の入園希望者をお断りしている。

幼稚園と関って母の会を開いている。これは毎月2回行なわれている。出席数はその時々でかなり変わるが、この前の学期には、平均20名が出席していた。

私たちは、また、母親向けにバイブルクラスをも開いている。この会は、聖書を学びたいが一人では理解できないという数人の婦人の求めに応じて開かれた。この会には7人の婦人が参加している。この会も毎月2回である。

Janet M. Johnstone (ジャネット M. ジョンストン)

なお、第6号巻末「統計」欄、Presbyterianの項において、京都、西陣幼稚園園長(Principal)には、金沢、英和幼稚園設立者であるミス ポートル(Miss Porter)の名前が掲載されている。しかし、前年の5号も翌年の7号も、異なる人が園長に掲載されている。

第7号(1913年、大正2年)

CANADIAN METHODIST(派遣教派)

47頁。Kanazawa Kindergarten(川上幼稚園、馬場幼稚園、七尾幼稚園)

私たちには2つの幸いな幼稚園がある。ひとつは川上地区にあり、もうひとつは馬場地区にある。これらのセンター(幼稚園のこと……筆者註)を発展させている人たちのおかげで、福音的活動の幅広い土台が築かれている。キリスト教教育の話しから直接聖書研究へと導くのが比較的たやすいと実感しており、とてもうれしい。

月例の母の会の出席率はとてもよい。毎回の聖書講義は、子どもへの聖話と同様に、よく受けとめられている。

今年、特筆すべきは、誕生会と同窓会に関することである。誕生会には、親も出席して子どもとともに食事をした。誕生会にともに集ったことによって全員が幸せな気分帰宅した。冬の吹雪の悪天候について親子でやってきた。それで、誕生会には非常に大きな関心があるということがわかった。親たちは、膝まで雪にうずもれ、子どもを背中におんぶしてやってきた。なぜなら、車は街路を走れなかったからである。親子が幼稚園にたどりついた時には、大きな雪だるまのように見えた。私たちは、玄関でほうきとブラシをもって出迎えた。そして、雪を払い落としながら笑い転げたが、一言も苦情は出なかった。誰もが、この日の喜びを嵐に邪魔させまいと決めていた。

一月に七尾に開いた幼稚園学級は、この町の大評判になった。私の行くところどこでも「あれは幼稚園の先生だ」という囁きが聞こえる。人々は、教会で小さな日本人の子どもたちに教える大きな外国人を、多大の興味をもって見ている。ちっちゃな赤ん坊は私をちっとも恐れない。だから私たちは一緒に楽しいひとときを持つ。

この幼稚園学級を通して、私たちは28家庭と知り合い、その内の8家庭を訪問することができた。料理教室では8家庭と、母の会では10家庭と知り合いになることができた。私は幼稚園学級を1人で教えているので、一度に25人以上受け入れるのは不可能だ。けれども、母親の中の1人を私の手伝いのために訓練している。そのうちに2倍の人数を受け入れたいと願っている。

私たちは、このクラスを週1回2時間、開いているだけなのだが、それでもこれは人々を刺激して、キリスト教の活動に門戸を開かせた。もし、連盟の誰かが、積極的な反対によって門戸の閉ざされている所を知っているなら、すぐに、これらの方法のひとつでも試してみればいい。そうすれば、どの方法にも神の加護のあることがわかるだろう。

H. E. De Wolfe (H. E. デ ヴォルフ)

児 玉 衣 子

49頁。Toyama Kindergarten (青葉幼稚園)

富山は、多分、日本中で最も熱烈な仏教徒の地方だから、キリスト教幼稚園は、非常に多くの厳しい試練に直面する。しかし、感謝をもっていうが、私たちは今までそれら全部を乗り越えた。現在、75名の在園者がいる。

6月に、これまでで最高平均の72名に達した。子どもたちは、社会のほぼ全部の階層からやって来る。そこで、訪問(家庭訪問のことか……訳者註)は変化に富み興味深い。

私たちは、子どもの進歩に関して、しばしば非常に勇気づけられる出来事を聞く。ある母親は、幼稚園の影響で、わが子の嘘つきが直ったといった。また、別の母親は次のような事実を話してくれた。すなわち、1年以上前に卒園したその人の娘が、兄姉たちがいつも物笑いにするにもかかわらず、毎晩かならずお祈りをしていますと。

ひとりの母親は、時折、母の会の後、救いにもっと十分に入る方法を質問するために残っている。また、数人の母親たちが、月例の聖書研究クラスに出席し始めている。

うれしいことに日曜学校に出席する幼稚園園児の人数が次第に増えている。しかし、何人か、おそらく20人かそこらの人数の子どもたちは、クリスマス以外には日曜学校に来ることを家庭から許されていない。

卒園生全体の第1回総会は、5月の寒いじめじめした日に開催された。園庭のどこも使えなかった。しかし、出席した55名の子どもたちは、室内での式に完全に満足していたようだ。この催しはまた、私たちと何の関りも持たずにこぼれ落ちているように見えた前述の家庭の内の何軒かをも、私たちが訪問するよい機会をもたらした。

M. E. Armstrong (M. E. アームストロング)

AMERICAN PRESBYTERIAN

55頁。Kanazawa & Takaoka Kindergartens (北陸女学校附属第一幼稚園、第二幼稚園)

幼稚園はとてもうまくいった年だった。金沢では100名の園児がいる。今春、43名が卒園する。

この幼稚園の母の会は、月2回、会合を開いている。出席者はかなり多く、平均20名以上。この会合で私たちはいつも聖書講話をする。私は、家庭訪問は殆どできないが、それ以外のことならできる。しかし、出かけた所ではどこでも、心からもてなされている。

高岡の幼稚園は2月に開園した。そして、私たちは幼稚園をどのようにすればよいのか、(以下にいうように)、もみくちやにされて知ったほどの成功をおさめた。

建物は、礼拝には大きすぎるのだが、まだ適当なものを確保することはできていない。あまりにもたくさんの人々がわが子を、私たちの幼稚園に入れたがったのである。私たちが彼らを受け入れ

るために便宜を図る何らかの手を打とうとしなかったもので、彼らは気を悪くした。

そこで、私たちは、幼稚園を午前保育と午後保育とにする計画を立てている。私たちには40名の子どもたちしか引き受けられないのに、午前クラスはあっという間に40名いっぱいになったし、午後クラスは50名だ。

この地の伝道者は、幼稚園教師たちがよき日曜学校教師でもあるのでとても喜んでいる。そして、(宣教の) あらゆる活動が、幼稚園のもたらした刺激、関心によって助けられている。

Janet M. Johnstone (ジャネット M. ジョンストン)

56頁。 Toyama Kindergarten (Seikwa 幼稚園)

The Toyama Kindergarten は、年間を通じて継続している。私たちは4月に14名の小さな聡明な人たちを卒園させた。新しく6名だけが入園した。それで、これまでよりもずっと小規模になった。現在、12名が在籍している。

出席人数のこのような落ち込みには2つの理由があるかもしれない。私に理解しうる限りでは、ひとつには主任保母の交代である。もうひとつには、人々に重税感と生活費がさらにかさんできているという感覚があることだ。今年、私たちは入園料を徴収し始めた。だから、人々には、本当に必要でもないものに支払うことのできる余裕の限界を超えたと感じられたのかもしれない。

K. Anna Gibbons (K. アンナ ギボンス)

56頁。 Fukui Kindergarten (Biko 幼稚園)

秋学期のために、福井 Biko 幼稚園には43名の子どもと2名の教師が入った。この学期間中、母の会は1回だけ開かれた。これは、知り合いになった人同士にとっては社会的な行事だった。春学期の開始時には、出席人数は61名まで増えた。そして、教師が1名加わって私たちの力になった。

母の会は月2回開かれた。この会合では最初に礼拝が行なわれ、次に縫い物が教えられた。出席者は少なかったが、毎回、増え続けた。

Mrs. James Ekin Detweiler (ミセス J. E. デトワイラー)

訳者註

福井、Biko 幼稚園については、本学紀要第32号に掲載した児玉衣子、菅原創、上垣信子共著「聞き書き 北陸地方のキリスト教保育史(1)福井県」において述べたように美光幼稚園と考えられる(同紀要20頁)。同園の創立、廃園の事情についても同箇所を参照していただくと幸いである。

児 玉 衣 子

第8号 (1914年、大正3年)

16頁-17頁。AMERICAN PRESBYTERIAN

私たちの監督下にある金沢地区には、3園が存在する。つまり金沢、富山、高岡である。これらは全部、北陸女学校の附属園である。これらの園は、この年も別々の人によって管理されているのだが、便宜上、3園まとめて報告する。

金沢の幼稚園はたいへんうまくいった年だった。在籍者数はほぼ昨年並み、つまり100名近い。6名の教師は、全員、北陸女学校卒業生で、しかも生き生きと協調して働いている。子どもたちは先生も活動(occupation、活動、お仕事……幼稚園で行なう積み木、遊戯、唱歌、色紙細工などの諸活動を一般に一言に「お仕事」といった。訳者註)も大好きだ。親たちは、子どもが病気のときでさえも幼稚園に行きたがる、という。

40名が3月に卒園し、この子どもたちが抜けた穴はたちまち40名以上の子羊ちゃんたちによって充たされた。今年は本当にこんな具合だ。教師たちは、新入園児たちにどんな小さな問題もないということに苦情をいう。しくしく泣いたり、あるいは大声で泣いていた子どもたちも、3日以内には泣き止んでしまった。

母の会は、月1回、かなりの出席数で開かれている。母親たちに聖書の話をして、話し手が替わりながら話している。何回も、教義と実践につながりのある主題が母親たちと話し合われた。母親たちはとても興味をひかれたようで、また理解を示した。この母親たちが明らかな興味をもってゴスペルのメッセージを聴くにもかかわらず、私たちは彼女たちに、教会の中のきちんと組織立てられたクリスチヤンの生活を伴う直接的なふれあいをもたらすことはできず、そのことを深く残念に思っている。家庭にはわずかだが呼びかけが継続されている。私たちは、いつも心からの感謝を受け取っている。それで、私たちは、福音伝道のこの大変に有益な路線に沿って、もっと活動する時間があればよいのにと願っている。

The Toyama Kindergarten (Seikwa 幼稚園) を次に挙げると、この園は金沢本部 (Kanazawa Headquarters) から最も遠い所にある。

この園(school)には、30名の子どもたちと2名の教師がいる。キリスト教の特別の催しのあらゆる機会に、親の出席率は高い。教師たちはよく家庭訪問をしている。しかし、幼稚園での母の会はまだ開かれていない。なぜなら多くの母親は教会の婦人会に出席しているからだ。しかし、私たちは近い将来、幼稚園の方で母の会を開く計画を立てている。母親に、幼稚園とその働きにもっと直接に関わってほしいと願っている。

高岡の幼稚園は、現在、1年あまり過ぎたところだ。幼稚園は殆ど何の設備もない礼拝場所で行なわれており、庭も全くないので、私たちは理想的な仕事をしているということもできないし、理想的なことを述べることもできない。しかし、50名の子どもが集まり3名の教師が働いている。驚いたことに、貧弱な施設にもかかわらず、親たちは文句もいわない。

私たちは、この1年、適当な場所を探してきた。しかし、まだ満足できる場所を得られない。もしこの事業をこれからも継続するなら、もっと適当な場所をみつけないといけない。

数名の子どもたちは礼拝所の日曜学校に出席している。家庭向けには多くの勧誘をしてきたが、母親のための特別な会合といったものは催してはいない。人々はなかなか手を差し出しては来ない。しかし、足を止めてはくれる。もし、もっとよい場所が確保されたなら、私たちは次の年にはもっと発展的な記録を出すことができるだろう。

金沢部代理 Ida R. Luther (イダ R. ルーサー)

58頁-59頁。CANADIAN METHODIST

今年はとても幸せな年で、私たちの4幼稚園はみな大奮闘した。

馬場幼稚園の新園舎については、私たちはその地区における私たちの働きに必要なことに対して完全に合致するように計画した。そして、私たちはそれを十分に享受した。大きな換気のよい部屋はどれも、大クリスマス祝会、誕生パーティー、同窓会、卒園式、母の会などが快適に行なわれて成功するのに実際に寄与した。この幼稚園と園舎とを保護者たちは喜び、誇りを抱いている。彼らのそのような様子が見られるのは美しい眺めだ。

川上地区の幼稚園は、現在も繁栄している。クリスマス行事、同窓会、誕生パーティー、卒園式および日々の保育は、出席数においても、よいプログラムを提供できたという点においても成功だった。

昨年11月、私たちは白銀教会に幼稚園を開いた。日曜学校を強化し婦人会を教会につなぐ目的をもってである。開園の朝には3人の子どもを迎えただけだったが、次第に増加して、3月までに25名になった。

教師たちの誠実で熱心な家庭訪問、地域の全家庭への園則配布、母の会、クリスマスや誕生会の催しなどによって、私たちはこのような興味を惹起した。その結果、4月には、2人の教師では限界の40名の子どもおよび入園待ちの子どものリストをもってスタートした。このような需要に出会っているので、9月には3人目の教師を雇わなければならない。

七尾の週1回の幼稚園学級は、興味あることに着実に成長している。教育的観点からすれば、週1回の幼稚園学級はそれほど価値があるようには思えない。しかし、福音伝道の観点からすれば、これは真理の勝利を証ししている。なぜなら、七尾は大変強固な仏教徒の中心地であって、この週1回の幼稚園学級の仕事は、(宗教ではなく)一般的な興味を喚起した最初の出来事だからである。私たちには、この年、たくさんの友人ができた。幼稚園学級開設以前には、キリスト教に反対ではないかもしれないが全く無関心であった家庭から、喜び迎えられた。

家庭訪問の際にさらに多くの家に扉を開いてもらうために、私たちは、この幼稚園学級において親子合同の料理教室や母の会を開いている。

昨年、私たちの川上夜学校の建物で、私たちは貧しい子どもたちのために午後の幼稚園を開いた。

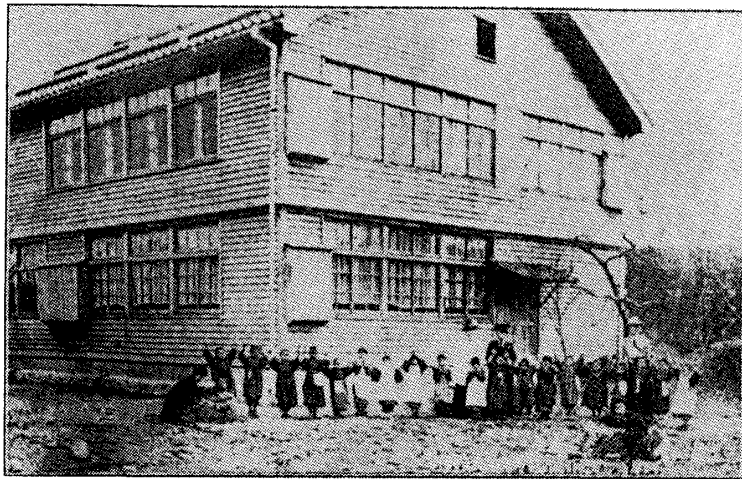
児 玉 衣 子

この午後の幼稚園の開設は、路上に放り出されているたくさんの小さい子どもたちを可能な限りに幸せにしたばかりではなく、私たちの日曜学校の供給装置としても作用した。

私たちの日本人同労者は、自分たちの仕事に忠実であり誠実である。だから、この年の繁栄は、当然、神の恩寵により、彼らの働きに負うところが大きい。

Henrietta E. De Wolfe, Kanazawa (ヘンリエッタ E. デヴォルフ、金沢)

この箇所(58頁)には写真が一葉掲載されている。Kanazawa W. M. S. Kindergarten and Industrial School と記されている。本文に川上夜学校の建物で午後の幼稚園開設のことが述べられているので、カナダメソヂスト派によるこの幼稚園および実業学校の建物ではないかと思われるが、明らかではない。下に写真を掲載する。



Kanazawa W. M. S. Kindergarten and Industrial School.

60-62頁。Toyama Kindergarten (Aoba 幼稚園)

畳敷きの小さな日本家屋がいよいよ手狭になってしまった。たくさんの人数が入園を断られて、大きな新しい建物の仕上がるのを待っていた。

ついに入る準備ができた。それは11月末だったけれども、私たちが公に開園した1911年12月2日の後まで好天気が続いた。

新しい道具類の一つひとつに、子どもたちは大喜びの声を上げた。始めのうち、せっかくアメリカ松の床の新しい建物なのに、子どもたちは畳(ござ?)に座らなければならなかった。つまり、約束していた月日までに椅子が全部は着かなかったのだ。そして、誰もが、数が十分に行き渡るようになるまで使おうとはしなかったのだ。

ある日のこと、降園間際に、子どもたちは「明日までに椅子が揃うでしょう」と聞かされた。すると翌朝、たくさんの幼児が、私たちが朝食を食べ終えるまでに登園してきた。ある母親によると、彼女の小さな娘は夜中に2, 3度も目を覚まして、母親に「幼稚園の椅子が明日までに来るのだから」

ら早く起こして」と頼んだという。

開園の日、知事と市長から懇ろな挨拶があり、父親、母親、その他の来賓が来場し、子どもたちは立派に役割を果たした。そして、これらの子どもたちが幼稚園に特別に愛着を感じており幼稚園に殆ど礼儀正しいともいうべき雰囲気をもたらしている、と私には思える。当然ながらこの子どもたちは、卒園生の会合とつながるあらゆることにおいても、リーダー的な役割を果たしている。

私たちは、入門（年少）組の子どもたちに入園してほしいと望んでいる。しかし、過去2年間、大多数は1年間だけのクラスに入園した。その結果、年長組の子どもの人数は多いのだが（その子どもたちが卒園すると、訳者挿入）、一握りの子どもしか残らないということを繰り返した。

しかし、この1年間クラスの子どもたちの中に、私たちは非常に優れた子どもたちを得た。2, 3例を挙げると、マサトシさんの父親は軍人であるが、ある夕方、子どもたちの玩具にと、一匹のトンボをポケットから掴み出した。二人の弟妹は歓声をあげてそれを掴もうとしたが、父親が長男を見ると、彼の目に涙がゆっくりと盛り上がり、ひとりぽつんと立っている彼の表情は暗くなっていった。父親は兄がトンボを欲しがっているのだと思って「どうしたの？ トンボをお兄ちゃんにあげなさい」と言った。すると「父さん、トンボが欲しいんじゃないの。今日、幼稚園の先生がトンボについて話して、『いじめてはいけない』と言われたの。だから父さん、トンボを逃がしてあげて。弟妹たちの遊び物にしないで」と、長男は嘆願した。

私が訪問したとき、母親は、父親が「マサトシさんから教えられた」と言った、という注目すべきことを話してくれた。

ヨシコさんは敬虔な幼いクリスチャンである。彼女の祖母は、最近のある日のこと、「ヨシコ、お前はイエス様を信じて仏様を拝もうとしないけれど、おばあちゃんと同じ極楽浄土へ行けなくて悲しくないの？」とたずねた。

「じゃあ、どうしておばあちゃんもイエス様を信じないの？」という答えが即座に返ってきた。

「あれまあ、おばあちゃんにはそんなことできないよ」と、祖母は、このむき出しの教示に憤慨して叫んだ。

「じゃあ、おばあちゃん、どうしようもないわ」と、子どもは打ち切った。

ヨシコさんの母親は、2, 3週間前に受洗した。

模範的な小さな子どもとして挙げることのできるたくさん例がある。—これらは、この富山における5年間の幸せで忙しい年月の間に、私の注意をひいた例である。

私たちの悩みの大きなものは、教師の確保である。新幼稚園の建設に続く一年間の間に、5人の教師が家庭に入るために辞めた。現在、非常に誠実で信頼できるスタッフに恵まれている。私たちは、この人たちを、少なくともしばらくの間は確保できることを切望している。

今年の同窓会はとりわけ勇気づけられるものだった。102名の卒園生のうち86名が出席した。このうち50名以上が日曜学校にきちんと出席している。

児 玉 衣 子

第8号巻末85頁-88頁の Membership List に掲載されている北陸地方関係者を挙げておく。

August 1914–August 1915

Miss Margaret Armstrong, Toyama

Mrs. J. E. Detweiler, Fukui

Miss H. E. DeWolfe, Kanazawa

Miss J. M. Johnstone, Kanazawa

Associate Members

Mrs. E. C. Hennigar, Toyama

Miss F. E. Porter, Fukakusa-mura, Kyoto

Miss S. Rees, Kanazawa

Mrs. P. A. Smith, Fukui

計 8 名（内、1 名は京都だが、ミスポートルなので掲載した）